認証ゲートウェイ利用手順書

Windows 編

1. 認証サービスの起動

(1) 左下の「Windows」マークをクリックして、「Windows 管理ツール」⇒「サービス」をクリック する。



(2)「サービス」画面を起動し以下の画面が表示されたら「Wired AutoConfig」をダブルクリック する。

🤹 サービス					_		×
ファイル(<u>F</u>) 操作(<u>A</u>)	表示(<u>V</u>) ヘルプ(<u>H</u>)						
🗢 🔿 📰 🗔) 📑 🛛 📷 🕨 🔳 🕕 🕨						
🤍 サービス (ローカル)	サービス (ローカル)						
	Wired AutoConfig	名前 ^	説明	状態	スタートアップの種類	ログオン	^
	<u>サービスの開始</u>	Windows Update Medic Ser Windows カメラ フレーム サーバー Windows セキュリティ サービス	Enab 複数 Wind	実行中	手動 手動 (トリガー開始) 手動	Local S., Local S., Local S.,	
	説明: Wired AutoConfig (DOT3SVC) サービス は、イーサネット インターフェイスに対して IEEE 802.1X 認証を実行します。現在のワ イヤードネットワーク展開が 802.1X 認証を 強制する場合、DOT3SVC サービスは、レイ ヤー2 接続の確立とネットワーク リソースへ のアクセスの提供を行うように構成されてい ます。802.1X 認証を強制しないワイヤード ネットワークには、DOT3SVC サービスによる 影響はありません。	 Windows パックアップ Windows プッシュ通知システ Windows モノイノル ホットスポッ Windows モノイイル ホットスポッ Windows 管理サービス Windows 管理サービス Windows 認識サービス Windows 認識サービス Windows 認識シミュレーション Windows 認識シミュレーション Windows 認識シミュレーション Windows 認識シミュレーション 	Wind このサ 携帯 がicr プロビ 空間 空間 Win Wire	実行中 実行中 実行中 実行中	 4 新 4 5 5	Local S. Local S. Local S. Local S. Local S. Local S. Local S. Local S.	· · · ·
		WLAN AutoConfig	WLA	実行中	自動 	Local S.	

(3)「Wired AutoConfig のプロパティ」画面で、スタートアップの種類の「自動」を選択し「開始」 ボタンをクリックし、サービスの状態が「実行中」になっていることを確認し「OK」をクリックす る。

(ローカル コンピューター)	Wired AutoConfig のプロパティ	Х
全般 ログオン 〔	回復 依存関係	
サービス名:	dot3svc	
表示名:	Wired AutoConfig	
説明:	Wired AutoConfig (DOT3SVC) サービスは、イーサネットイン ターフェイスに対して IEEE 802.1X 認証を実行します。現在のワ イヤード ネットローク屋開が 802.1X 認証を満到する場合	
実行ファイルのパス: C:¥Windows¥syst	em32¥svchost.exe -k LocalSystemNetworkRestricted -p	
スタートアップの 種類(<u>E</u>):	自動 ~	
サービスの状態:	実行中	
開始(<u>S</u>)	停止(1) 一時停止(<u>P</u>) 再開(<u>R</u>)	
ここでサービスを開始	するときに適用する開始パラメーターを指定してください。	
開始パラメーター(<u>M</u>	R]
	OK キャンセル 適用(A)

2. TCP/IPの設定

(1) 左下の「Windows」マークをクリックして、「設定」をクリックする。

۵	ドキュメント
	ピクチャ
ŝ	設定
↺	電源
	오 이 타 💻 🗟 📼

(2)「Windowsの設定」画面で「ネットワークとインターネット」をクリックする。

← 設定		_	×
	Windows の設定		
	設定の検索		
	・ システム ディスプレイ、サウンド、通知、電源 デバイス Bluetooth、 ブリンター、マウス		
	 電話 Android, iPhone のリンク ネットワークとインターネット Wi-Fi、 張内モード、VPN]	

(3)「状態」画面で「アダプターのオプションを変更する」をクリックする。

÷	設定		-	×
ណ៍	ホ− <i>L</i>	状態		
Ē,	200検索 の	ネットワークの状態		
ネッ	トワークとインターネット	□		
₽	状態			
(iii	Wi-Fi	未接続 どのネットワークにも接続されていません。		
烥	イーサネット	▲ トラブルシューティング		
¢:	ダイヤルアップ	利用できるネットワークの表示		
ంజం	VPN			
s ⁿ ⊃	機内モード	ネットワーク設定の変更		
(q))	モバイル ホットスポット	アダブターのオブションを変更する ネットワーク アダブターを表示して接続設定を変更します	ţ.	

(3)「ネットワーク接続」画面で「イーサネット」を右クリックし、「プロパティ」をクリックする。

😰 ネットワーク接続	- 🗆 X
← → ⊻ ϯ 😰 « ネッ > ネット	
整理 ▼	
イーサネット ネットワーク ケーブルが接続されていま Realtek PCle GbE Family Controller	 無効にする(B) 状態(U) 診断(I) ブリッジ接続(G) ショートカットの作成(S)
	 「^{3]はなしり} 名前の変更(M) プロパティ(R)

(4)「イーサネットのプロパティ」画面で「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」 を選択し、「プロパティ」をクリックする。

🏺 イーサネットのプロパティ	×
ネットワーク 認証 共有	
接続の方法:	
Realtek PCIe GbE Family Controller]
構成(<u>C</u>)	1
この接続は次の項目を使用します(<u>O</u>):	· .
■ ■ Microsoft ネットワーク用クライアント	
 ✓ Wilcrosoft ネットワーク用ファイルとフリフター共有 ✓ 望QoS パケット スケジューラ 	
 ✓ _ インターネット プロトコル パージョン 4 (TCP/IPv4) 	
インストール(N) 削除(U) プロパティ(R)	
)
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまな ネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコ	
ルです。	
OK	2.11/

- (5)「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4) のプロパティ」画面で次の設定を行い「OK」をクリックする。
- ・IPアドレスを自動的に取得する
- ・DNS サーバのアドレスを自動的に取得する

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)の	プロパティ	×
全般(代替の構成		
ネットワークでこの機能がサポートされている場合 きます。サポートされていない場合は、ネットワー ください。	☆は、IP 設定を自動的に取得することが ク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ 、	ё !Т
 IP アドレスを自動的に取得する(<u>O</u>) 		
○ 次の IP アドレスを使う(<u>S</u>):		
IP アドレス(<u>)</u> :		
サプネット マスク(<u>U</u>):		
デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):	· · · · · · ·	
● DNS サーバーのアドレスを自動的に取得す	する(<u>B)</u>	
── 次の DNS サーバーのアドレスを使う(<u>E</u>):		
優先 DNS サー/(-(<u>P</u>):		
代替 DNS サー/((ー(<u>A</u>):		
□終了時に設定を検証する(L)	詳細設定(⊻)	
	ОК キ ャンセ	JL

- 3. 認証の設定
- (1)「イーサネットのプロパティ」画面で「認証」タブをクリックし、次の設定を行う。
 - ・IEEE 802.1X 認証を有効にする:チェック
 - ・ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する:チェック
 - ・ネットワークの認証方法の選択:Microsoft: EAP-TTLS

📱 イーサネットのプロパティ	×
ネットワーク 認証 共有	
このイーサネット アダブターに認証済みのネットワーク アクセスを提供するに は、このオブションを選択してください。 [V] IEEE 802.1X 認証を有効にする(<u>N</u>)	
ネットワークの認証方法の選択(<u>M</u>):	
Microsoft: EAP-TTLS > 設定(S)	
✓ ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R)	
☑ 承認されていないネットワーク アクセスにフォールバックする(E)	
追加の設定(<u>D</u>)	
閉じる キャンセ	JV -

(2)「イーサネットのプロパティ」画面で「Microsoft: EAP-TTLS」の「設定」をクリック。

🏺 イーサネットのプロパティ	\times
ネットワーク 認証 共有	
このイーサネット アダプターに認証済みのネットワーク アクセスを提供するには、このオプションを選択してください。	
✓ IEEE 802.1X 認証を有効にする(N)	
ネットワークの認証方法の選択(<u>M</u>):	
Microsoft: EAP-TTLS ~	
✓ ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R)	
✓ 承認されていないネットワーク アクセスにフォールパックする(E)	
追加の設定(<u>D</u>)	
閉じる キャンセル	

(2)「TTLS のプロパティ」画面で「ID プライバシーを有効にする」のチェックを外し、クライアント認証で「認証に非 EAP メソッドを選択する」を選択し、更にリストから「暗号化されていないパスワード(PAP)」を選択する。選択後、「OK」をクリックする。

TTLS のプロパティ	×
D プライバシーを有効にする(D)	
anonymous	
サーバー証明書の検証	
これらのサーバーに接続(<u>Q</u>):	
- 信頼されたルート証明機関(<u>R</u>):	
AAA Certificate Services	
AffirmTrust Commercial	
Certum CA	
Certum Trusted Network CA	
< >	
□ サーバーを承認できない場合に、ユーザーに確認しない(P)	
クライアント認証	
◎ 認証に非 EAP メソッドを選択する(<u>N</u>)	
暗号化されていないパスワード (PAP) ~	
□ Windows アカウント名とバスワード (あればドメインも) を自動的に使う(<u>W</u>)	
○認証に EAP メソッドを選択する(E)	
Microsoft: スマートカードまたはその他の証明書 ~	
構成(C)	
OK キャンセル	

4. 接続及び認証

(準備)他のウィンドウに隠れてしまうことがあるため、開いているウィンドウは最小化するか閉 じる。

- 設定完了後、LAN ケーブルを接続すると、デスクトップ上に「Windows セキュリティ」画面 が表示されるので、愛媛大学アカウントのユーザー名およびパスワードを入力し「OK」をクリ ックする。
 - (例)愛媛大学アカウント学生:a999999a教職員:aidai.hanako.mj

Windows セキュリティ サインイン	×
1-ザー名	
パスワード	
ОК	キャンセル

(2) 「サーバーの ID を確認できません」のメッセージが表示される場合は「接続」をクリックする。

イーサネット認証	×
サーバーの ID を確認できません	
組織のイーサネット ネットワークに接続しようとしている場合は、続行して接続してください。 接続を続行しますか?	
▼ 詳細 接続(C) 接続Lない(D))